

## 6. 気象の状況

三面海に囲まれた本県は、南九州、四国南部、紀伊半島及び伊豆半島と並んで温暖な地方である。しかし両総台地は内陸性気候で寒暖差はやや大きく、反対に太平洋及び内陸沿岸は海洋性の気候で比較的暖かい。

雨量は地域により差はあるが、房総丘陵の南側が多く、北西部は少ない。特に内湾沿岸は本県でも最も雨量の少ない地域である。

平成6年の気候概況は次のとおりである。

平成6年は、2月、3月を除くすべての月で平年（平均気温）を上回る気温となった。特に夏は太平洋高気圧の勢力が強くなり月平均気温はかなり高くなった。また、前線や台風などの影響が少なかったため記録的な小雨となり県内各地で農作物や家畜に被害が発生した。

